

ハウスミカンにおけるミカンキイロアザミウマの発生

[要約] 県内のハウスミカンにおいてミカンキイロアザミウマの発生を多良見町、長与町、西有家町、大村市のハウスミカンで初確認した。果実における被害は加害された箇所が白いかすり状の斑紋となり、加害程度がひどいものは褐変して商品価値を低下させた。被害は果頂部から果側部まで広範囲に認められた。

長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	指導
---------------	----	------	----	-----	----	----

資料名：平成10年度 長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

1998年7月に長崎県のハウスミカンでミカンキイロアザミウマの初発生が確認された。そこで、本種のハウスミカンにおける分布と被害状況を明らかにし、防除対策の資料とする。

[成果の内容・特徴]

- ①1998年7月～8月に県内のハウスミカンにおけるミカンキイロアザミウマの寄生調査を行ったところ、多良見、長与町、西有家町、大村市のハウスミカン果実でミカンキイロアザミウマの寄生が確認された。本害虫は、これらハウスの内部および周囲の雑草でも寄生が確認された。
- ②本種は長崎県では1995年にキクで初発生が確認され、いくつかの花き類、野菜類での発生、被害がこれまでに確認されていたが、ハウスミカンでの被害および寄生の確認は初めてである。
- ③成幼虫の寄生は確認できなかったが、症状が類似した被害果実が、瑞穂町、有家町のハウスミカンで確認された。聞き取り調査によると諫早市内のハウスミカンでも同様の被害果が確認された。本被害はミカンキイロアザミウマか他の種類のアザミウマ類による加害が明らかでないが、県内のハウスミカンで本種の発生と被害が拡大している可能性が考えられる。
- ④ハウスミカンにおける被害は果実上の加害痕が白くかすり状となり、加害程度がひどいと、時間の経過とともに被害箇所が褐変して腐敗様症状を示すことがある。被害の発生部位は果側部、果頂部、果梗部などまんべんなく発生し、果実同士や果実と葉が重なり合っている箇所での被害がひどいことが多い。
- ⑤果実への加害は着色開始頃から始まり、加害期間は収穫期まで続く。

[成果の活用面・留意点]

- ①本種の未確認地域でも発生している可能性があるため、被害果が確認されたならば発生動向に注意し、増加し始めたら防除を行う。

[具体的データ]

表1 県内のハウスミカンにおけるミカンキイロアザミウマの発生および被害状況

番号	調査圃場	採集場所 ²	採集植物	ミカンキイロアザミウマ数 ³			他アザミウマ数			アザミウマ類の被害果発生状況
				成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	
1	多良見町	内部	ミカン	20	38	58	0	0	0	ほぼ全樹、甚被害果多数
				ツクサ	20	14	34	0	0	
2	長与町	内部	ミカン	52	43	95	0	0	0	樹上に被害果多い、程度甚
		内部	クハ	10	1	11	0	0	0	
		内部	アザミ	27	5	32	0	0	0	
3	西有家町A	内部	ミカン	32	8	40	0	0	0	樹上に被害果多い
		周囲	ツクサ	4	38	42	0	0	0	
4	大村市	内部	ミカン	1	1	2	0	0	0	1果のみ被害
5	西有家町B	内部	クハ	0	0	0	0	0	0	収穫前被害果あった(聞取)
6	瑞穂町A	内部	クハ	0	0	0	0	0	0	ハウス内放置果に被害有
		周囲	アザミ	0	0	0	0	0	0	
		周囲	ツクサ	0	0	0	1	3	4	
7	瑞穂町B	内部	ミカン	0	0	0	14 ^x	51	65	樹上に被害果散見
		内部	クハ	0	0	0	0	0	0	
		内部	アザミ	0	0	0	0	0	0	
8	有家町A	内部	ミカン	0	0	0	1	0	0	樹上に被害果散見
		内部	ツクサ	0	0	0	1	0	0	
		内部	クハ	0	0	0	0	0	0	
		内部	アザミ	0	0	0	0	0	0	
		周囲	ツクサ	0	0	0	0	0	0	
9	有家町B	内部	ミカン	0	0	0	7 ^x	11	18	樹上に被害果多い
		周囲	ツクサ	0	0	0	0	0	0	

² 場所の内部はハウス内部を周囲はハウス周囲を意味する。

³ 数値は果実または花(花序)10果から採集したアザミウマ数を示す。1998年7~8月調査

^x Thrips属の1種であるキハアザミウマと同定した。

表2 聞取り調査によるミカンキイロアザミウマ被害果実の発生状況(1998年12月)

地区名	発生面積	発生時期
有家町、西有家町	約30a	もえぎ頃または脱色期~着色期
諫早市	約50a	7月中旬
多良見町	約30a	7月中旬
琴海町	発生無し	
西海町、西彼町、大瀬戸町	発生無し	

[その他]

研究課題名：果樹の特殊病害虫発生状況調査

予算区分：県単

研究期間：平成10年度(昭58~)

研究担当者：中村吉秀、太田孝彦、病害虫防除所、病害虫専門技術員

発表論文等：なし